

睡眠医療学

担当指導医師

教授：西島嗣生

特任講師：細川敬輔

助教：細川里絵

助教：山口貴之

学修方針（実習概要等）：

1. 睡眠に関わる疾患の診断手順、各疾患に対する治療方法を修得する。特に閉塞性睡眠時無呼吸症候群の診断方法、CPAP の治療圧の設定法を確実に修得する事を目的とする。

教育成果（アウトカム）

- (1) 睡眠関連疾患にかかる病態、行動様式、検査、治療について理解することで、将来、臨床に応用できる事に到達する。

到達目標（SBOs）

- (1) 学生は、睡眠時無呼吸症候群（閉塞性、中枢性、チェーンストークス型呼吸）、ナルコレプシーの診断方法を理解できる。
- (2) 学生は、自ら簡易型睡眠検査の実施、解析、結果の説明ができる。
- (3) 学生は、CPAP の適制圧設定が出来る。
- (4) 学生は、CPAP 機器で得られたデータを理解できる。
- (5) 学生は、睡眠障害鑑別のためのフローチャートを使用して、睡眠障害の鑑別が出来る。
- (5) 学生は、睡眠関連病態の医学的介入や治療方法について理解し、自ら診療計画を立案できる。
- (6) 学生は、睡眠関連病態における行動医学の役割について説明し、将来の自らの領域の診療実務に応用できる。

外来、病棟実習内容と到達目標：

1. 外来実習（新患）
学生は、睡眠障害の診断・治療チャートに則って診断・治療方法を導くことができる。（表 1）
2. 外来実習（睡眠時無呼吸障害外来）
 - i. 学生は、CPAP の適性圧設定ができる。
 - ii. 学生は、CPAP 機器から得られたデータを理解することができる。
 - ii. 学生は、治療効果の評価の方法ができる。
 - iii. 学生は、CPAP 治療患者の、治療に対する問題点に対応、対処できる。
3. 病棟実習
ナルコレプシーの診断検査である反復睡眠潜時検査を理解できる。実際に 9 時から 17 時までの検査に立ち会い、ナルコレプシーの診断ができることを目的とする。

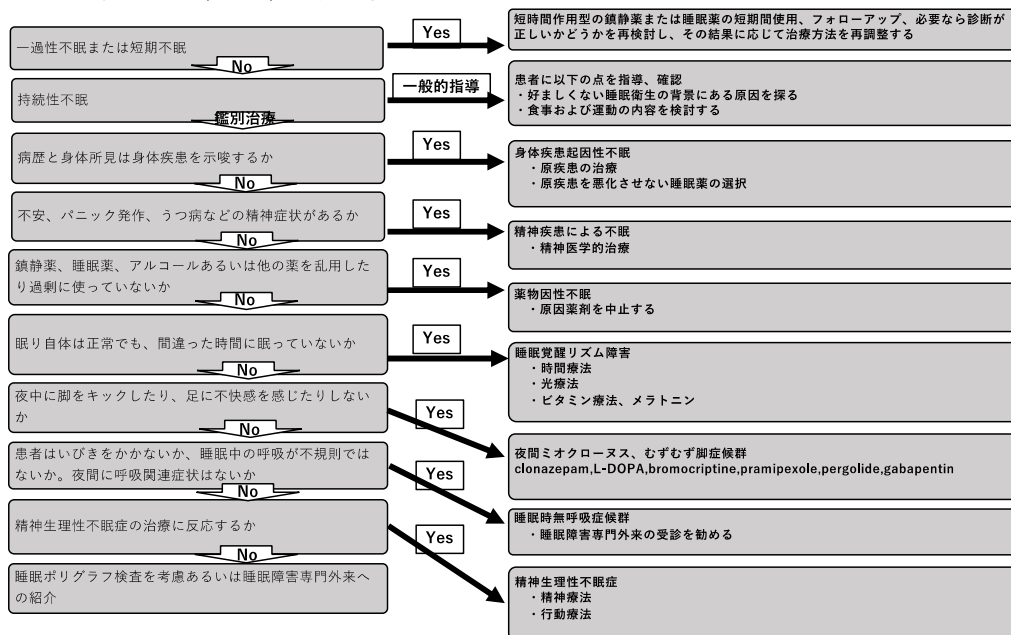
- i. 学生は、ナルコレプシーの診断方法である反復睡眠潜時検査に立ち会い、自ら診断をつけることができる。
- ii. 学生は、担当したナルコレプシー患者の治療方針を立てることができる。ナルコレプシーの診断検査である反復睡眠潜時検査を理解できる。実際に9時から17時までの検査に立ち会って、ナルコレプシーの診断ができることを目的とする。
- iii. 学生は、終夜睡眠ポリグラフで、脳波で入眠を確認し睡眠潜時を測定することができる。
- iv. 学生は、REMの脳波波形を読み取ることができる。
- v. 学生は、SOREMPを判定できる。

4. その他：睡眠薬の使用方法を修得する。

- i. 学生は、超短時間型、短時間型、中間型、長時間型の睡眠薬を使い分けることができる。
- ii. 学生は、超短時間型、短時間型、中間型、長時間型の睡眠薬作用・副作用を理解できる。
- iii. 学生は、不眠症の鑑別を行って治療薬を選択することができる。

表 1

不眠症の診断・治療チャート



注意：

Webclass に実践内容のポートフォリオを入力すること。内容を教員が評価し、随時フィードバックする。

授業に使用する機械・器具と使用目的

使用区分	使用機器・器具等の名称	個数	使用目的
診断用機械	簡易型睡眠検査装置	6	睡眠時無呼吸症候群のスクリーニング検査
診断用機械	終夜睡眠ポリグラフ検査	4	睡眠時無呼吸症候群の確定診断検査
実習用機械	持続的陽圧呼吸療法(CPAP)	1	閉塞性睡眠時無呼吸症候群の治療機器
治療機器	二相性気道陽圧両方(BIPAP)	1	CPAP 無効の閉塞性睡眠時無呼吸症候群もしくはチェーン・ストークス呼吸症候群の治療機器
治療機器	adaptive servo-ventilation	1	CPAP 無効の閉塞性睡眠時無呼吸症候群もしくはチェーン・ストークス呼吸症候群の治療機器
治療器具	睡眠表	多数	概日リズム障害などの普段の睡眠状況を確認する表
治療器具	光療法機器	2	概日リズム障害特に朝起床できない人への治療機器
その他	スマートウォッチ PMP-300/ 睡眠評価装置	1台	臨床実習で使用
その他	ハイビジョン液晶テレビ 40型 (40S25R)	1台	臨床実習で使用